

# ハコモノ・開発優先ではなく暮らし応援を

## 3月定例会 報告 NO1

諸物価高騰が続き、庶民の暮らしは厳しくなるばかりです。そんな中で甲良町議会3月定例会は23日、委員会に付託された議案に対する討論が行われ終了しました。西澤議員は令和8年度一般会計予算に対し基本点にしぼって反対討論をおこないました。なお、賛成、反対とも討論したのは西澤議員だけでした。

### DXの推進で暮らしは？

1. 予算審議の中で先ず感じたのは、以下の内容です。令和8年度予算の総括中、「人口減少、少子化対策」において「省力化を実践することにより、人口減少の中にあっても住民にとって安心して住みよい地域社会を築き…」とあるが、省力化による初期投資、ラウンドコストはともすれば我が町財政を圧迫するだけではなく、住民の利便性を必ずしも向上させるとは限らないもので、「1T」格差とも言える、1Tを使いこなせる住民とそうでない住民との格差は極めて大きいものと言わざるを得ません。このことは総括「4」「情報格差」を認めた記述(で述べられているDXの推進でも同様のことが言えると思います)。

2. 財政調整基金、約2億5,400万円を取り崩すことになった主な原因は、予算編成全体の矛盾した方針の象徴だとも考えます。それは、何よりも尼子駅前の宅造事業と防災センター機能を有した庁舎

3. 例えは带状疱疹予防ワクチン接種の国の5年刻みの隙間をカバーする予算、RSウイルスワクチン予防接種の自己負担額補助の予算、また国の地方重点支援金に加算して道の駅だけではなく、どの店、どの商品でも使える支援金に充て、物価高騰対策を独自に充実することが可能なのではないのでしょうか。

### ハコモノ優先は 財政を圧迫

4. 以前にも指摘していますが、

それだけに、アベノミクス・円安から続く物価高騰の下、賃金、年金は上がらず、住民の暮らしは大変きびしい環境に置かれていることへの対応がおろそかになっていない元凶となっているのではないのでしょうか。

### 「くらし応援」は 置き去りか

① 尼子駅前宅造事業は若者世代を呼び込み、人口激減状態に歯止めをかけるための狙いがありますが、人口流出が多いのは住宅地が少ないだけの問題ではないと考えます。移住・定住を多数にするには暮らし・子育て・医療・教育・交通など町のトータル的な評価の結果をみなさんが評価することに尽きると思います。② 宅地造成から販売まで町の事業で行うリスクの大きさです。アメリカとイスラエルがイランを攻撃したことからは始まった中東地域一帯に広がった戦争の影響を受け原油価格の高騰が続いており、2年前に発表した8億6,400万円を超える恐れは十分に考えられます。そして、住宅用地の需要で、近江鉄道沿で他と比較して優位だとは思えないこと、もう一つには若者世代労働者の賃金は物価高騰に追いつけず目減りを続けていること、やむを得ず、空き家が町の発表でも160を超えている、これが厳しい現実です。計画を根本的に見直すよう申し上げたいと思います。

以上

### 副町長の同意議案は…

寺本町長は「重要施策の積極推進」などの理由から、副町長に県より出向した加藤貴也氏を提案。西澤議員は小さな町に副町長は必要ないなどの理由で反対しました。また、委員会での質疑など、次号に順次掲載します。

## 甲良民報

2026年4月12日 967号  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
連絡：甲良町在士 373 (西澤)  
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

ご感想・ご相談をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949

©日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】